

平成 20 年 4 月 28 日

第 111 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

[調査要領]

対象期間	平成 20 年 1 ~ 3 月期実績見込み 平成 20 年 4 ~ 6 月期見通し
調査時点	平成 20 年 3 月下旬
対象企業	県内主要企業 512 社
回答状況	回答企業 337 社、回答率 65.8%
特別質問項目	平成 20 年度の賃金改定計画について 新入社員の初任給改定計画について 非正社員（パート・派遣社員など）の処遇について

用語 今 期 = 平成 20 年 1 ~ 3 月期 来 期 = 平成 20 年 4 ~ 6 月期
前 期 = 平成 19 年 10 ~ 12 月期 前年同期 = 平成 19 年 1 ~ 3 月期
予 想 = 前期調査時の今期見通し

D.I. = 「良い」 - 「悪い」、「増加」 - 「減少」、いずれも回答企業割合

1. 今期の業況 ~ 横ばい

今期の業況 D.I.は▲34 と、前年同期(24)を下回り、前期(33)から横ばいとなった。1~3月期としては、調査開始(昭和 55 年 7~9 月期)以来、平成 10 年(44)に次いで、14 年(34)と並ぶ低水準となる。項目別にみると、売上・完工高(前期 ▲23→今期 ▲24)、損益(同 ▲31→▲29)および資金繰り(同 ▲16→▲18)はいずれも横ばいとなった。

また、今期は、仕入価格 D.I.(59)が調査開始以来、最も高い結果となった。

業況 D.I.を産業別にみると、製造業(同 32 26)は改善、建設業(同 49 49)および小売業(同 54 52)は横ばい、卸売業(同 22 32)およびその他産業(同 19 26)は悪化した。

2. 来期の業況見通し ~ 後退

来期の業況見通し D.I.は▲39と、今期(▲34)から後退する見込み。項目別にみると、売上・完工高(今期▲24→来期▲22)、損益(同▲29→▲31)、資金繰り(同▲18→▲19)はいずれも横ばいの見通し。

業況見通し D.I.を産業別にみると、小売業(同▲52→▲40)が改善するものの、製造業(同▲26→▲32)、建設業(同▲49→▲69)、卸売業(同▲32→▲35)、その他産業(同▲26→▲30)はいずれも後退する見通しとなっている。

3. 設備投資 ~ 前期を下回る

今期設備投資を実施した企業割合は40%と、前期(44%)を4ポイント下回った。

投資内容別にみると、「設備機械等の更新、維持」(70%)が最も多く、以下、「生産・販売能力増強」(27%)、「省力化、合理化、省エネ」(16%)の順で、上位3項目の順位に変化はない。

来期に設備投資を予定している企業割合は36%と、今期を下回る見通し。

4. 経営上の問題点

経営上の問題点としては、「競争激化」(55%)が最も大きな割合を占めていることに変わりはないが、次いで「原材料・仕入品価格高」(49%)となり、「売上・受注不振」(47%)を上回った。以下、「採算・収益の悪化」(27%)、「人件費等経費高」(19%)の順となった。

5. 平成20年度の賃金改定計画について

本年度の**賃金改定計画**については、回答企業のうち、「引き上げる」(41%)、「引き下げる」(2%)ともに前年と同水準となった。

賃金引き上げ率で最も多いのが「1~2%未満」の49%、次いで「1%未満」「2~3%未満」がともに18%となった。

賃金改定要因をみると、「自社の業績」と回答した企業割合が73%と最も多く、次いで「同業他社の改定状況」(25%)、「国内景気動向」(7%)、「県内景気動向」(6%)となった。

6. 新入社員の初任給改定計画について

新入社員の初任給の改定計画をみると、高校卒は D.I.6(「引き上げる」 - 「引き下げる」、回答企業割合)、専修学校卒は D.I.6、短大卒 D.I.8、大学卒 D.I.9、大学院卒では D.I.3となり、全てで前年を下回った。

7. 非正社員(パート・派遣社員など)の処遇について

1年前と比べた非正社員の割合をみると、「ほぼ同じ」とする企業割合が63%と最も多く、次いで「増加」(14%)、「減少」(9%)となった。また、「非正社員はいない(すべて正社員)」は14%となった。非正社員の割合が増加した要因をみると、「労働コスト削減のため」が58%と最も多く、次いで「即戦力の人材を確保したいから」が40%、「正社員の負荷を減らすため」が22%となった。

今年の非正社員の割合(見込み)をみると、「ほぼ同じ」とする企業割合が76%と最も多く、次いで「減少」(8%)、「増加」(7%)となった。

正社員への転換制度の導入状況をみると、「ある」と回答した企業割合は36%となり、「現在は無いが、今後、検討予定である」および「ない」はともに32%となった。また、昇進・昇給制度の導入状況をみると、「ある」と回答した企業割合は39%となり、「現在は無いが、今後、検討予定である」は33%、「ない」は28%となった。

平成19年の非正社員の待遇改善状況をみると、「実施した」企業割合が43%、「実施しなかった」企業割合が57%となった。実施した待遇改善の内容をみると、「賃金改善」が68%と最も多く、次いで「正社員化」が35%、「福利厚生の拡充」が14%となった。

平成20年の非正社員の待遇改善状況をみると、「実施予定」の企業割合が29%、「実施予定なし」の企業割合が37%、「未定」が34%となった。実施予定の待遇改善の内容をみると、「賃金改善」が58%と最も多く、次いで「正社員化」が52%、「福利厚生」の拡充が17%となった。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿兒島地域経済研究所 (099-225-7491)

第 1 1 1 回 県 内 企 業 ・ 業 況 調 査 結 果 集 計 表

単位：%

四 半 期 別 状 況 項 目	平成19年10～12月期				平成20年1～3月期					平成20年4～6月期			
	前期 実績				今期 実績					来期 見通し			
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D . I . (A) - (C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D . I . (A) - (C)	(前 回 調 査 時 今 期 見 通 し)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D . I . (A) - (C)
	(A)	(B)	(C)	(A) - (C)	(A)	(B)	(C)	(A) - (C)	(前 回 調 査 時 今 期 見 通 し)	(A)	(B)	(C)	(A) - (C)
自 社 の 業 況	9	49	42	33	9	48	43	34	(32)	5	51	44	39
製 造 業	10	48	42	32	12	50	38	26	(35)	8	52	40	32
建 設 業	2	47	51	49	7	37	56	49	(48)	0	31	69	69
卸 売 業	8	62	30	22	10	48	42	32	(21)	7	51	42	35
小 売 業	4	38	58	54	4	40	56	52	(46)	6	48	46	40
その他産業	14	53	33	19	9	56	35	26	(17)	5	60	35	30
生産高(製造業)	16	52	32	16	14	58	28	14	(21)	13	61	26	13
売上・完工高	18	41	41	23	17	42	41	24	(21)	13	52	35	22
製 造 業	24	44	32	8	21	48	31	10	(20)	19	55	26	7
建 設 業	10	35	55	45	18	32	50	32	(44)	0	30	70	70
卸 売 業	14	50	36	22	12	56	32	20	(24)	12	66	22	10
小 売 業	9	32	59	50	11	33	56	45	(26)	11	50	39	28
その他産業	23	41	36	13	16	41	43	27	(6)	15	54	31	16
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 18	適正 75	不足 7	11	過剰 14	適正 77	不足 9	5					
販売価格	上昇 19	横ばい 64	低下 17	2	上昇 20	横ばい 60	低下 20	0	(2)	上昇 25	横ばい 54	低下 21	4
仕入価格	上昇 56	横ばい 42	低下 2	54	上昇 62	横ばい 35	低下 3	59	(54)	上昇 63	横ばい 34	低下 3	60
損 益	好転 16	横ばい 37	悪化 47	31	好転 13	横ばい 45	悪化 42	29	(30)	好転 7	横ばい 55	悪化 38	31
製 造 業	16	37	47	31	14	47	39	25	(29)	10	51	39	29
建 設 業	8	46	46	38	13	38	49	36	(48)	0	40	60	60
卸 売 業	16	47	37	21	10	51	39	29	(27)	7	61	32	25
小 売 業	7	28	65	58	11	38	51	40	(32)	7	56	37	30
その他産業	27	33	40	13	15	47	38	23	(20)	6	66	28	22
資 金 繰 り	楽 5	普通 74	窮屈 21	16	楽 5	普通 72	窮屈 23	18	(18)	楽 4	普通 73	窮屈 23	19
製 造 業	4	80	16	12	6	74	20	14	(13)	5	77	18	13
建 設 業	6	69	25	19	4	69	27	23	(25)	7	62	31	24
卸 売 業	3	89	8	5	7	78	15	8	(2)	5	78	17	12
小 売 業	4	57	39	35	6	63	31	25	(28)	2	66	32	30
その他産業	8	75	17	9	5	73	22	17	(16)	4	75	21	17

第111回 企業業況アンケート調査

回答率

単位：%

	対象企業	回答企業	回答率
製造業	146	105	71.9
食料品	65	54	83.1
繊維	10	8	80.0
木材	6	2	33.3
紙・パルプ	3	2	66.7
窯業・土石	15	11	73.3
機械・金属	19	10	52.6
電機・電子	19	13	68.4
その他	9	5	55.6
非製造業計	366	232	63.4
建設業	65	45	69.2
土木	22	17	77.3
建築	14	9	64.3
総合建設	14	8	57.1
その他	15	11	73.3
卸売業	65	41	63.1
食料品	31	21	67.7
建設資材	11	9	81.8
衣料品	2	1	50.0
家電製品	6	2	33.3
その他	15	8	53.3
小売業	114	56	49.1
百貨店・スーパー	21	11	52.4
衣料品	9	5	55.6
自動車	16	7	43.8
家電製品	8	3	37.5
石油	12	4	33.3
その他	39	23	59.0
外食産業	9	3	33.3
その他	122	90	73.8
旅館・ホテル	22	17	77.3
運輸	33	22	66.7
サービス	60	45	75.0
農林水産	7	6	85.7
合計(製造+非製造)	512	337	65.8

業況D . I . の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	7～9	月期	39	29	20	58	58	35
	10～12	"	44	38	34	65	66	25
10年	1～3	"	44	48	8	54	57	49
	4～6	"	44	45	54	50	42	33
	7～9	"	47	53	46	55	46	38
	10～12	"	28	22	15	39	40	23
11年	1～3	"	24	30	1	30	31	17
	4～6	"	31	26	17	34	41	37
	7～9	"	31	28	30	43	37	20
	10～12	"	11	1	11	8	40	5
12年	1～3	"	11	5	4	18	24	8
	4～6	"	23	14	37	50	13	24
	7～9	"	23	15	35	31	25	21
	10～12	"	13	6	4	15	28	17
13年	1～3	"	22	27	2	18	35	18
	4～6	"	39	42	42	29	41	33
	7～9	"	41	51	30	43	39	28
	10～12	"	34	23	32	30	56	29
14年	1～3	"	34	31	44	37	36	28
	4～6	"	30	18	60	31	34	21
	7～9	"	30	13	52	31	44	24
	10～12	"	18	6	29	22	42	19
15年	1～3	"	25	13	29	19	41	28
	4～6	"	35	16	58	25	58	29
	7～9	"	24	7	48	29	34	25
	10～12	"	17	7	33	33	42	15
16年	1～3	"	12	5	35	8	23	11
	4～6	"	23	2	61	25	43	12
	7～9	"	21	8	37	27	36	14
	10～12	"	7	11	23	6	29	8
17年	1～3	"	24	16	31	17	33	31
	4～6	"	26	17	60	18	24	26
	7～9	"	27	23	40	23	28	25
	10～12	"	18	2	28	8	29	25
18年	1～3	"	22	19	23	14	36	18
	4～6	"	25	17	42	17	32	22
	7～9	"	32	31	33	25	43	28
	10～12	"	27	24	33	30	54	11
19年	1～3	"	24	19	27	35	52	5
	4～6	"	32	31	33	38	44	19
	7～9	"	38	45	31	41	51	19
	10～12	"	33	32	49	22	54	19
20年	1～3	"	34	26	49	32	52	26
	4～6	月期見通し	39	32	69	35	40	30

(注) D . I . = 「良い」 - 「悪い」

売上・完工高D . I . の推移（前年比）

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	7～9	月期	29	10	40	49	38	32
	10～12	"	41	40	37	63	46	26
10年	1～3	"	53	55	31	65	57	53
	4～6	"	35	35	45	46	26	29
	7～9	"	35	44	44	29	27	27
	10～12	"	28	20	23	35	26	38
11年	1～3	"	18	21	4	17	23	17
	4～6	"	16	8	39	13	12	15
	7～9	"	14	10	15	32	24	0
	10～12	"	6	0	30	7	8	10
12年	1～3	"	3	2	17	7	0	2
	4～6	"	12	10	42	28	8	7
	7～9	"	13	8	36	11	4	16
	10～12	"	17	16	28	20	11	16
13年	1～3	"	12	20	9	12	5	24
	4～6	"	30	37	28	19	28	29
	7～9	"	39	50	40	38	43	17
	10～12	"	29	23	30	39	26	38
14年	1～3	"	30	33	33	38	24	22
	4～6	"	26	15	56	32	21	21
	7～9	"	18	7	46	25	20	22
	10～12	"	18	2	25	14	26	33
15年	1～3	"	21	8	50	10	15	36
	4～6	"	23	5	45	7	44	26
	7～9	"	13	0	35	17	18	14
	10～12	"	17	1	34	25	21	26
16年	1～3	"	3	30	43	4	14	10
	4～6	"	10	7	39	10	28	1
	7～9	"	9	2	39	17	24	6
	10～12	"	3	12	31	10	14	12
17年	1～3	"	21	22	41	7	18	19
	4～6	"	12	9	43	7	7	20
	7～9	"	17	21	40	13	3	12
	10～12	"	12	12	30	9	5	16
18年	1～3	"	13	18	31	16	6	3
	4～6	"	15	17	33	15	11	8
	7～9	"	18	22	11	25	17	11
	10～12	"	20	18	28	33	30	7
19年	1～3	"	13	18	9	31	17	8
	4～6	"	22	20	36	29	23	15
	7～9	"	27	31	34	35	28	14
	10～12	"	23	8	45	22	50	13
20年	1～3	"	24	10	32	20	45	27
	4～6	月期見通し	22	7	70	10	28	16

(注) D . I . = 「増加」 - 「減少」

損益（前年比）D . I . の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	7～9	月期	23	13	23	26	28	32
	10～12	"	34	32	36	43	46	19
10年	1～3	"	43	42	22	48	50	49
	4～6	"	27	35	39	25	17	18
	7～9	"	21	26	37	17	13	14
	10～12	"	16	13	19	15	14	20
11年	1～3	"	8	15	0	9	6	5
	4～6	"	3	3	20	14	1	6
	7～9	"	9	4	22	21	5	4
	10～12	"	4	4	13	4	11	4
12年	1～3	"	2	3	16	5	1	0
	4～6	"	9	1	34	24	11	21
	7～9	"	8	4	18	2	2	18
	10～12	"	13	9	27	6	8	19
13年	1～3	"	11	15	0	5	11	18
	4～6	"	22	39	23	17	0	15
	7～9	"	29	41	29	23	30	17
	10～12	"	29	26	44	27	39	14
14年	1～3	"	21	22	40	15	16	17
	4～6	"	13	0	42	19	8	9
	7～9	"	7	8	33	12	3	12
	10～12	"	11	7	19	16	20	19
15年	1～3	"	12	1	29	17	3	18
	4～6	"	13	2	25	19	16	13
	7～9	"	10	3	25	20	14	13
	10～12	"	11	4	30	18	13	15
16年	1～3	"	1	16	31	2	7	2
	4～6	"	9	2	45	12	13	3
	7～9	"	7	6	35	9	10	2
	10～12	"	5	2	28	6	5	13
17年	1～3	"	18	11	41	0	20	26
	4～6	"	12	7	42	2	0	20
	7～9	"	16	17	33	15	4	14
	10～12	"	13	11	30	5	9	17
18年	1～3	"	23	22	36	22	19	20
	4～6	"	22	21	25	9	35	17
	7～9	"	28	36	24	14	40	22
	10～12	"	23	16	32	19	42	19
19年	1～3	"	19	12	32	35	30	3
	4～6	"	18	16	18	30	23	13
	7～9	"	24	29	27	25	28	13
	10～12	"	31	31	38	21	58	13
20年	1～3	"	29	25	36	29	40	23
	4～6	月期見通し	31	29	60	25	30	22

(注) D . I . = 「好転」 - 「悪化」

資金繰りD . I . の推移

			全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
9年	7 ~ 9	月期	12	7	6	13	21	25
	10 ~ 12	"	21	22	10	14	28	23
10年	1 ~ 3	"	16	14	2	17	23	23
	4 ~ 6	"	11	13	0	4	23	12
	7 ~ 9	"	19	24	7	20	15	22
	10 ~ 12	"	15	7	2	16	22	26
11年	1 ~ 3	"	10	7	2	9	15	15
	4 ~ 6	"	3	2	12	2	9	13
	7 ~ 9	"	11	13	1	18	12	13
	10 ~ 12	"	8	3	4	9	19	14
12年	1 ~ 3	"	4	1	9	8	9	13
	4 ~ 6	"	0	4	13	6	6	15
	7 ~ 9	"	13	9	2	4	17	26
	10 ~ 12	"	11	9	2	5	8	26
13年	1 ~ 3	"	6	4	6	6	8	19
	4 ~ 6	"	11	16	6	5	12	22
	7 ~ 9	"	13	19	7	0	14	20
	10 ~ 12	"	16	12	14	11	22	24
14年	1 ~ 3	"	12	9	10	11	10	24
	4 ~ 6	"	6	2	7	4	6	12
	7 ~ 9	"	12	5	17	12	13	17
	10 ~ 12	"	10	4	2	15	19	22
15年	1 ~ 3	"	6	14	11	13	13	13
	4 ~ 6	"	5	4	8	17	17	23
	7 ~ 9	"	7	1	6	4	15	17
	10 ~ 12	"	9	1	17	4	17	19
16年	1 ~ 3	"	8	5	17	4	19	7
	4 ~ 6	"	3	8	5	2	20	8
	7 ~ 9	"	5	4	14	2	13	8
	10 ~ 12	"	3	1	0	3	13	4
17年	1 ~ 3	"	6	4	11	0	15	14
	4 ~ 6	"	5	0	8	5	13	14
	7 ~ 9	"	12	15	10	4	16	10
	10 ~ 12	"	12	10	9	7	20	17
18年	1 ~ 3	"	9	11	5	5	26	6
	4 ~ 6	"	7	5	2	2	17	7
	7 ~ 9	"	11	11	4	0	24	13
	10 ~ 12	"	13	9	13	0	28	13
19年	1 ~ 3	"	11	14	6	0	28	4
	4 ~ 6	"	7	6	4	7	24	8
	7 ~ 9	"	13	13	5	14	24	11
	10 ~ 12	"	16	12	19	5	35	9
20年	1 ~ 3	"	18	14	23	8	25	17
	4 ~ 6	月期見通し	19	13	24	12	30	17

(注) D . I . = 「楽」 - 「窮屈」

第111回

業況D.I.

	19年1～3月期	19年10～12月期	20年1～3月期		20年4～6月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	24	33	32	34	39
製造業	19	32	35	26	32
食料品	15	30	35	17	26
繊維	80	63	38	50	38
木材	33	50	50	50	50
紙・パルプ	50	0	0	0	0
窯業・土石	10	37	13	18	73
機械・金属	0	33	33	40	30
電機・電子	22	24	42	31	39
その他	75	0	50	60	0
建設業	27	49	48	49	69
土木	43	43	38	59	71
建築	22	71	57	56	78
総合建設	33	67	67	38	75
その他	0	33	46	36	55
卸売業	35	22	21	32	35
食料品	48	20	15	24	29
建設資材	22	33	33	56	56
その他	22	25	22	25	25
小売業	52	54	46	52	40
百貨店・スーパー	71	88	88	73	64
衣料品	83	75	75	80	80
自動車	22	25	25	14	0
家電製品	0	0	0	0	0
石油	50	60	100	50	0
その他	58	57	35	59	45
その他	5	19	17	26	30
旅館・ホテル	19	16	11	6	13
運輸	5	18	32	38	33
サービス	15	35	19	33	46

第111回

売上・完工高D.I.

	19年1～3月期	19年10～12月期	20年1～3月期		20年4～6月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	13	23	21	24	22
製造業	18	8	20	10	7
食料品	26	2	21	7	9
繊維	67	25	50	50	38
木材	25	50	50	50	0
紙・パルプ	0	50	100	50	50
窯業・土石	0	11	13	9	36
機械・金属	14	33	22	20	20
電機・電子	25	8	8	17	25
その他	50	25	50	60	20
建設業	9	45	44	32	70
土木	8	38	43	38	81
建築	11	72	15	45	44
総合建設	16	78	78	25	100
その他	0	16	39	18	55
卸売業	31	22	24	20	10
食料品	40	15	21	5	0
建設資材	10	16	0	45	0
その他	22	25	33	38	38
小売業	17	50	26	45	28
百貨店・スーパー	0	62	50	60	40
衣料品	50	75	75	80	80
自動車	11	37	0	29	0
家電製品	0	100	100	0	33
石油	33	33	60	0	33
その他	33	57	17	44	26
その他	8	13	6	27	16
旅館・ホテル	34	5	11	0	25
運輸	10	5	0	14	5
サービス	9	26	18	46	37

第111回

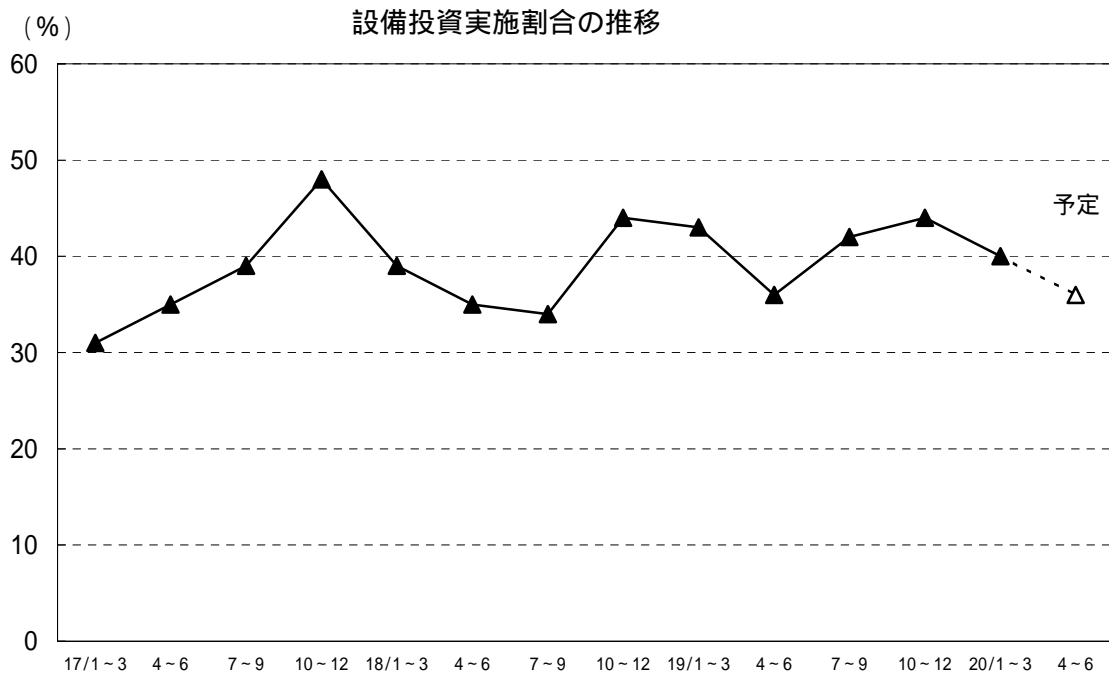
損益D.I.(前年比)

	19年1～3月期	19年10～12月期	20年1～3月期		20年4～6月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	19	31	30	29	31
製造業	12	31	29	25	29
食料品	21	40	41	17	26
繊維	80	0	12	38	38
木材	25	50	50	50	0
紙・パルプ	50	100	100	50	50
窯業・土石	0	45	23	18	73
機械・金属	29	45	22	40	10
電機・電子	34	8	15	31	23
その他	25	75	25	80	40
建設業	32	38	48	36	60
土木	29	23	43	24	59
建築	37	57	15	56	44
総合建設	50	67	67	38	75
その他	10	31	62	36	64
卸売業	35	21	27	29	25
食料品	50	35	21	10	14
建設資材	30	16	33	67	22
その他	11	11	33	38	50
小売業	30	58	32	40	30
百貨店・スーパー	15	62	50	70	60
衣料品	33	100	100	60	60
自動車	33	12	13	14	14
家電製品	0	100	100	0	33
石油	0	100	50	25	0
その他	42	48	26	39	35
その他	3	13	20	23	22
旅館・ホテル	25	5	6	6	7
運輸	0	0	24	41	27
サービス	15	28	28	18	27

第111回

資金繰りD.I.

	19年1～3月期	19年10～12月期	20年1～3月期		20年4～6月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	11	16	18	18	19
製造業	14	12	13	14	13
食料品	7	8	6	7	2
繊維	50	37	37	50	38
木材	75	50	50	0	0
紙・パルプ	0	0	0	0	0
窯業・土石	10	11	0	9	36
機械・金属	15	33	33	20	30
電機・電子	0	0	8	15	15
その他	0	0	50	40	20
建設業	6	19	25	23	24
土木	7	9	28	24	24
建築	0	14	0	22	0
総合建設	18	38	38	25	25
その他	0	23	23	18	45
卸売業	0	5	2	8	12
食料品	5	5	6	10	5
建設資材	10	17	17	22	22
その他	22	0	13	25	38
小売業	28	35	28	25	30
百貨店・スーパー	29	25	25	20	30
衣料品	67	75	75	80	80
自動車	22	12	12	14	0
家電製品	50	0	0	0	0
石油	0	67	20	0	0
その他	33	26	26	31	32
その他	4	9	16	17	17
旅館・ホテル	0	0	25	25	20
運輸	0	9	18	19	14
サービス	9	14	12	9	14



第111回

設 備 投 資

単位: %

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
20 / 1 }	実施した	40	50	14	37	38	44
	設備機械等の更新、維持	70	78	83	67	60	64
	生産・販売能力増強	27	16	17	20	60	28
	省力化、合理化、省エネ	16	22	17	20	10	10
	経営多角化	6	4	0	13	10	5
	新製品等の研究開発	2	4	0	0	0	3
	その他	6	8	0	0	10	5
3 月	実施予定	36	45	9	25	37	45
	設備機械等の更新、維持	68	67	100	60	53	74
	生産・販売能力増強	32	26	0	40	74	21
	省力化、合理化、省エネ	17	26	0	30	5	10
	経営多角化	6	4	0	10	21	0
	新製品等の研究開発	4	4	0	10	5	3
	その他	6	9	25	0	0	5
4 }							
6 月							

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答

設備投資実施割合の推移

単位：%

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
9年	7～9	月期	36	47	24	19	32	44
	10～12	"	36	42	33	25	37	35
10年	1～3	"	31	36	17	17	31	44
	4～6	"	33	37	25	20	30	42
	7～9	"	30	37	18	17	32	34
	10～12	"	33	37	25	22	28	44
11年	1～3	"	28	32	27	22	18	38
	4～6	"	30	39	19	17	30	33
	7～9	"	31	35	17	29	31	34
	10～12	"	31	39	15	27	31	32
12年	1～3	"	32	40	17	26	28	37
	4～6	"	35	41	26	27	34	38
	7～9	"	36	39	20	43	30	45
	10～12	"	35	45	23	30	30	31
13年	1～3	"	33	40	24	28	22	41
	4～6	"	32	36	24	25	35	31
	7～9	"	34	37	20	33	31	42
	10～12	"	31	40	19	33	29	28
14年	1～3	"	28	30	19	31	27	31
	4～6	"	30	33	15	28	35	35
	7～9	"	33	42	22	28	35	30
	10～12	"	31	37	21	28	27	40
15年	1～3	"	30	40	18	28	24	31
	4～6	"	32	34	14	40	30	38
	7～9	"	33	38	21	30	29	37
	10～12	"	33	43	26	25	22	38
16年	1～3	"	31	45	7	28	30	30
	4～6	"	31	38	33	21	24	33
	7～9	"	35	43	12	24	33	50
	10～12	"	33	36	21	23	36	39
17年	1～3	"	31	35	15	30	24	41
	4～6	"	35	42	26	28	29	39
	7～9	"	39	44	19	35	40	46
	10～12	"	48	59	27	50	39	55
18年	1～3	"	39	48	16	39	40	42
	4～6	"	35	45	15	28	33	40
	7～9	"	34	43	11	27	35	41
	10～12	"	44	50	28	35	44	50
19年	1～3	"	43	50	30	42	41	43
	4～6	"	36	48	20	31	28	40
	7～9	"	42	46	24	38	40	49
	10～12	"	44	58	25	24	42	48
20年	1～3	"	40	50	14	37	38	44
	4～6	月期見通し	36	45	9	25	37	45

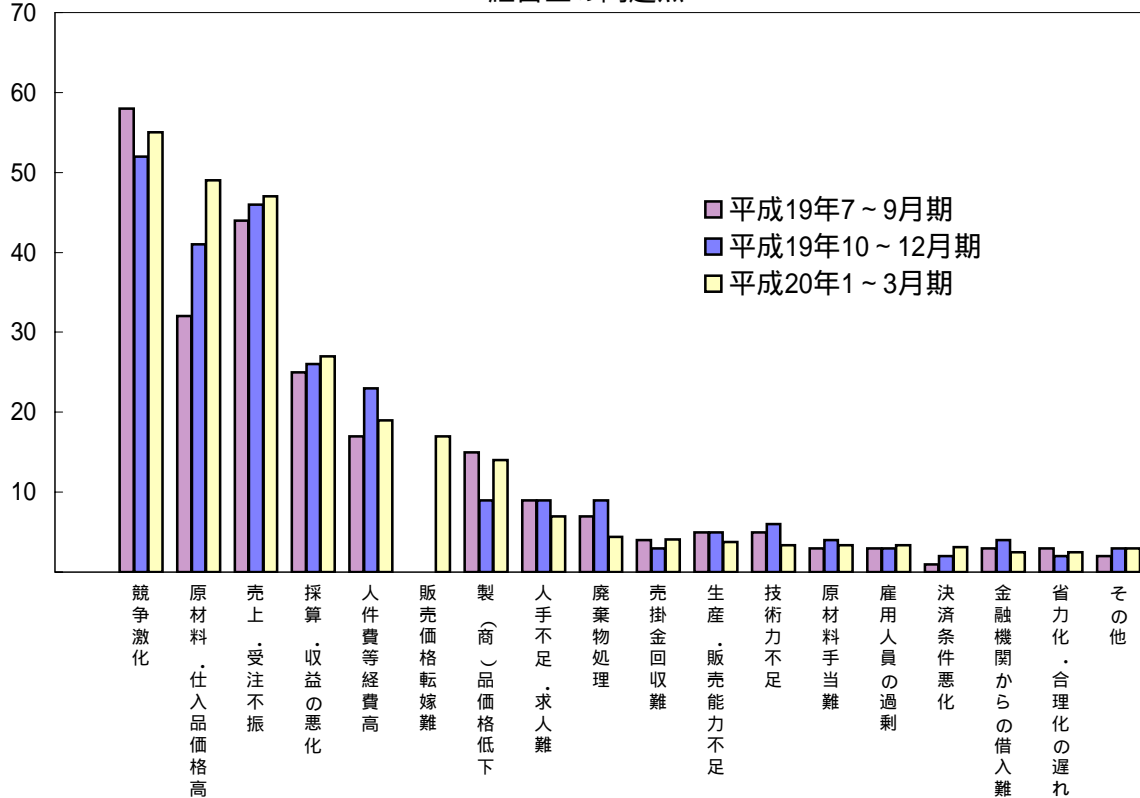
	全産業		製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
		構成比					
競争激化	55	20.5	32	81	58	80	49
原材料・仕入品価格高	49	18.3	70	49	45	27	41
売上・受注不振	47	17.5	37	77	35	56	43
採算・収益の悪化	27	10.1	21	37	33	27	27
人件費等経費高	19	7.1	14	14	30	26	19
販売価格転嫁難(仕入価格上昇分)	17	6.3	25	5	35	13	6
製(商)品価格低下	14	5.2	18	7	20	6	11
人手不足・求人難	7	2.6	7	0	5	11	10
廃棄物処理	4	1.5	10	2	5	0	1
売掛金回収難	4	1.5	4	2	13	6	0
生産・販売能力不足	4	1.5	3	2	0	9	4
技術力不足	3	1.1	5	2	0	0	4
原材料手当難	3	1.1	8	0	5	0	1
雇用人員の過剰	3	1.1	2	2	5	2	6
決済条件悪化	3	1.1	5	0	5	4	1
金融機関からの借入難	3	1.1	2	2	0	4	4
省力化・合理化の遅れ	3	1.1	5	0	8	0	0
その他	3	1.1	1	2	5	2	5
回答企業数	320		99	43	40	55	83

(注) 複数回答につき計算は $\frac{\text{該当項目の回答数}}{\text{回答企業数}} \times 100$

回答項目「販売価格転嫁難(仕入価格上昇分)」は、今回より追加。

(%)

経営上の問題点



<特別質問項目>

平成20年度の賃金改定計画について

(単位:%)

		全産業												
		全産業		製造業		建設業		卸売業		小売業		その他産業		
		19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	
実施予定	引き上げる	41	41	46	51	20	11	58	49	37	36	40	43	
	引き上げ率	1%未満	22	18	24	18	29	20	33	17	20	10	12	22
		1~2%未満	48	49	35	47	29	40	50	56	66	60	56	43
		2~3%未満	19	18	29	24	14	40	17	6	7	15	16	16
		3~4%未満	3	5	3	6	0	0	0	6	0	0	8	5
		4~5%未満	1	4	0	2	14	0	0	0	0	5	0	8
		5~6%未満	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		6%以上	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		未定	7	5	9	0	14	0	0	17	7	10	8	5
	引き下げる	2	2	1	0	0	2	3	2	5	5	2	2	
	引き下げ率	1%未満	20	14	0	0	0	0	0	100	0	0	100	0
		1~2%未満	20	29	0	50	0	0	0	0	50	50	0	0
		2~3%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3~4%未満	0	14	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0
		4~5%未満	0	14	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0
		5~6%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6%以上	20	14	100	50	0	0	0	0	0	0	0	0
		未定	40	14	0	0	0	0	100	0	50	0	0	100
改定要因	自社の業績	73	73	77	78	71	67	71	88	83	50	63	72	
	同業他社の改定状況	23	25	15	28	14	17	18	6	25	43	42	25	
	国内景気動向	7	7	8	5	0	0	18	18	0	14	5	3	
	県内景気動向	6	6	4	8	29	0	6	12	8	7	0	0	
	国内主要大企業の改定状況	1	5	0	5	14	0	0	0	0	14	0	3	
	取引先の改定状況	-	2	-	3	-	0	-	0	-	0	-	3	
	その他	16	9	15	3	29	33	12	12	8	14	21	9	
実施しない	19	20	17	19	30	27	12	17	21	17	18	22		
未定	38	37	36	31	50	60	27	32	37	42	40	33		

注) 計数は構成割合。賃金改定要因は複数回答

<特別質問項目>

新入社員の初任給改定計画について

(単位:%)

		全産業											
		19年		20年		製造業		建設業		卸売業		小売業	
		19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年
高校卒	引き上げる	12	8	15	11	5	5	5	4	14	7	14	8
	前年並み	85	90	82	85	90	90	90	96	83	93	86	89
	引き下げる	3	2	3	4	5	5	5	0	3	0	0	3
	D.I.	9	6	12	7	0	0	0	4	11	7	14	5
専修学校 (高専)卒	引き上げる	14	9	14	9	0	0	9	13	23	14	15	4
	前年並み	83	88	81	85	100	100	86	87	74	86	85	92
	引き下げる	3	3	5	6	0	0	5	0	3	0	0	4
	D.I.	11	6	9	3	0	0	4	13	20	14	15	0
短大卒	引き上げる	14	11	15	5	0	0	9	20	19	18	15	10
	前年並み	83	86	80	90	100	100	86	80	78	82	85	85
	引き下げる	3	3	5	5	0	0	5	0	3	0	0	5
	D.I.	11	8	10	0	0	0	4	20	16	18	15	5
大学卒	引き上げる	14	11	15	12	0	6	8	22	22	7	17	12
	前年並み	83	87	81	83	100	94	88	78	75	93	83	84
	引き下げる	3	2	4	5	0	0	4	0	3	0	0	4
	D.I.	11	9	11	7	0	6	4	22	19	7	17	8
大学院卒	引き上げる	13	7	17	11	10	0	6	8	12	0	16	12
	前年並み	84	89	77	82	90	100	94	92	82	100	84	82
	引き下げる	3	4	6	7	0	0	0	0	6	0	0	6
	D.I.	10	3	11	4	10	0	6	8	6	0	16	6

注) 計数は構成割合。賃金改定要因は複数回答

<特別質問項目>

非正社員(パート・派遣社員など)の処遇について

(単位:%)

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業		
1年前と比べた非正社員の割合	増加	14	14	8	15	23	11		
	要因	労働コスト削減のため	58	69	33	67	46	60	
		即戦力の人材を確保したいから	40	54	33	17	31	50	
		正社員の負荷を減らすため	22	15	33	0	46	10	
		正社員を採用できないため	16	23	0	17	8	20	
		正社員の(定年)退職が多かったため	11	8	67	17	8	0	
		労働者自身が柔軟な就業形態を求めているため	9	15	0	17	8	0	
		業務のマニュアル化が進んだため	2	8	0	0	0	0	
		その他	9	0	0	17	15	10	
	ほぼ同じ	63	65	64	63	52	69		
減少	9	10	0	7	16	7			
非正社員はいない(すべて正社員)		14	11	28	15	9	13		
今年の非正社員割合	増加	7	3	3	5	14	10		
	ほぼ同じ	76	77	84	79	74	72		
	減少	8	9	10	5	10	6		
	わからない	9	11	3	11	2	12		
正社員への転換制度	ある	36	37	19	26	54	34		
	現在は無いが、今後、検討予定である	32	39	23	37	24	32		
	ない	32	24	58	37	22	34		
昇進・昇給制度	ある	39	41	23	37	53	35		
	現在は無いが、今後、検討予定である	33	31	19	40	33	36		
	ない	28	28	58	23	14	29		
待遇改善	平成19年	実施した	43	42	23	58	47	43	
		内容	賃金改善	68	71	100	72	68	57
			正社員化	35	40	0	28	41	37
			福利厚生の拡充	14	18	17	11	14	10
			その他	2	0	0	0	5	3
	実施しなかった	57	58	77	42	53	57		
	平成20年	実施予定	29	29	10	31	30	37	
		内容	賃金改善	58	59	100	70	50	52
			正社員化	52	59	33	40	64	44
			福利厚生の拡充	17	15	33	10	14	22
			その他	1	0	0	0	0	4
		実施予定なし	37	32	57	44	33	34	
未定	34	39	33	25	37	29			

(注) 計数は構成割合。非正社員の増加要因、非正社員の待遇改善内容は複数回答。

最近の業況に関する主な意見

業 種		最近の業況
製造業	焼酎	原料(芋、麦、米)の高騰による利益率低下が著しい。また容器包装代や燃料費が上昇している。現在の状態が続くと、売上低下と相まって純利益はかなり低下する。
	焼酎	平成20年になって、昨年7月に実施した価格改定以前の状況に回復したように思われる。しかし、今年の4～6月期は、昨年、価格改定に伴う仮需要が発生しているため、対前年比では厳しい時期となる。
	鯉節	原料(生)の高騰(上昇)はひとまず一服したものと思われるが予断は許されない。今後更に上昇するようであれば、節の製造そのものを中断することも視野に入れざるを得ない。その際は削りのみに専念することとなる。
	石材製品	公共工事における石工事も減少が続いているが、今期は久しぶりに大型工事が入ったため、生産が伸びた。
	精密機械	原材料となる鋼鉄の価格が4月から4割増しとの連絡があり、今後、製品への価格転嫁をどうするのかが課題である。
卸売業	海産物	原材料価格や運送費などの上昇分を、商品に即時に転嫁することができていない。今後、創意工夫しながら商品開発等に力をいれていきたい。
小売業	スーパー	商品の仕入について、問屋からの引き上げ要請が引きもきらず、売価への転嫁は難しい状況にある。また、県外資本の小売業者の進出による競争は熾烈である。
	石油	仕入価格上昇に伴う小売価格の値上げによるお客様の買い控えと、公共事業減少による販売数量の落ち込みが起きている。
	薬局	薬業界はオーバーストア状態にあり、競争激化は今後も続く予想される。大手量販店と違った差別化戦略を実施することにより、小さくても元気のある小売業として、勝ち残っていく企業体質を構築することが急務である。
その他サービス業	ホテル	鹿児島市内のホテルが急増している。特に鹿児島中央駅周辺の増加で競争が激化している状況。一般的に3月は動きは良いが、4、5、6月と夏を前に入込み客の動向を注意深くみていきたい。
	運輸	原油高騰の今後の動向が気になる。
	不動産	繁忙期の来客が前年比6～7%減少した。
	漁業	燃油代高騰が経営を圧迫している。